

自治公民館と子ども会の在り方について

～地域全体で子ども達の安全を保つには？～

そもそも自治公民館って何のためにあるの？



- ・ 地域で助け合いながら住民の健やかな生活を守る
- ・ 家庭から出るごみを分別・処理し環境を整える
- ・ 広報誌を通して市政について正しく知ってもらう
- ・ 地域の伝統を守り、継承していく



公民館の会費は何に使われているの？

- ・ 街灯の維持・管理費（街灯の電気代も支払われています）
- ・ 消防団の維持・管理費
- ・ 地域のお祭り（六月灯等）、運動会、敬老会などのイベント費
- ・ 地区、県の部会参加費
- ・ 公民館の維持・修繕費



自治公民館、子ども会に入ると…

プラスイメージ

- ・地域の人とつながる
- ・資源ごみが近くで出せるようになる
- ・お祭りやイベントに参加してみると意外と楽しい
- ・登校班で学校に行ける
- ・夜道が明るくなる
- ・市の情報が入りやすくなる



マイナスイメージ

- ・役員が回ってくる
- ・年配の方がなんとなく怖い
- ・会費が高いイメージ
- ・集まりが多い
- ・公民館の老朽化が進んでいる
- ・旗当番がある
- ・一度入ったら抜けられないイメージ



都城市民が公民館と呼んでいるのは「自治公民館」の事である…？

・地域振興課

・地区公民館

西岳、沖水、祝吉、志和池
中郷、妻ヶ丘、庄内、小松原
高崎、中央（姫城）、横市
五十市、高城、（有水文館）
山之口総合センター
山田総合福祉センター

- ・生涯学習課
- ・地域生活課（高城、山之口、山田）

・地域包括センター

姫城・中郷地区
妻ヶ丘・小松原地区
五十市・横市地区
祝吉・沖水地区
志和池・庄内・西岳地区
山之口・高城地区
山田・高崎地区

- ・いきいき長寿課

地区公民館をコミュニティハブへ

・コミュニティ税の導入

市民一人あたり〇〇円負担



- ・防犯灯の設置及び管理
- ・ごみステーションの管理
- ・防犯カメラの設置



・コミュニティポイントの導入

小学生から1人1枚ずつ所持



- ・ボランティアのポイント化
- ・たまったポイントは1000Pごとに地域振興券に交換可
- ・学生さんにボランティア活動証明を発行



<コミュニティハブの役割>

- ・保育園ターミナル
- ・サブスクール
- ・つなぐステーション

